

# ハーモニー

(第13号)

発行：下田市役所企画財政課 編集協力：男女共同参画社会の実現を目指す市民懇話会  
 電話 22 - 2212 FAX22 - 3910 メール kikaku@city.shimoda.shizuoka.jp

Column【コラム】

『いろいろあるから面白い』 弁護士 住田裕子さん

私の出演しているテレビ番組「行列のできる法律相談所」が高視聴率です。その人気の秘密とは？変な弁護士が4人もいて、意見が違い、ぶつかり合うのが面白いんだそう。その背景として、日本が今、変わり目で、ライフスタイルに関する国民の意識や価値観がさまざまに変化している真っ最中であることも関係あるかもしれません。

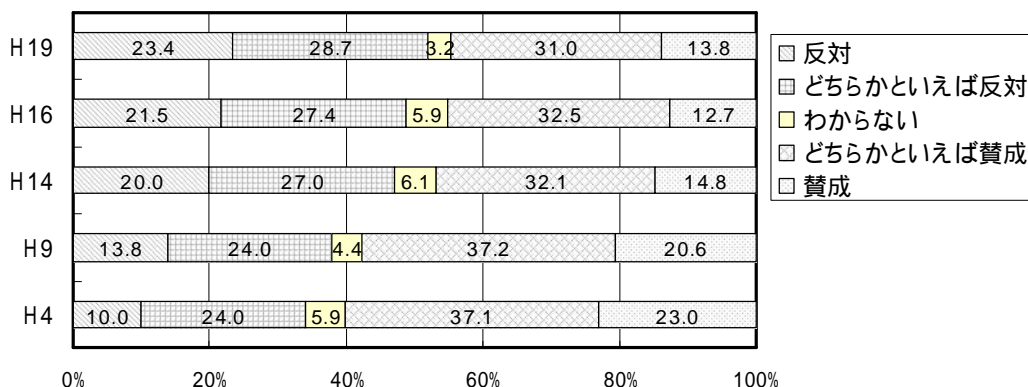
確かに、内閣府の世論調査でも、この1・2年で逆転したものがいくつか。固定的性別役割分担意識は、賛成派より反対派が上回りましたし、女性の就業意識も、育児による一時中断派より就業継続派が多数に。

一方、少子化が先進国最速で進み、総人口も減少局面に突入。変革期・・・今までの常識や成功体験がかえって足かせになることも予想されます。そんな未来につなぐキーワードが、「男女共同参画社会」。男性も女性も力を合わせて進みましょう。



(出典：内閣府「男女共同参画の広報のために～やさしく、楽しく、共同参画～」)

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について



【参考資料】  
 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という固定的役割分担意識は、「反対・どちらかといえば反対」が、平成十九年に半数を超えました。

(出典：内閣府：『男女共同参画に関する世論調査』)

ハーモニーに関するご意見やご感想、掲載内容に関するご要望をお待ちしております。

下田市役所企画財政課 〒415-8501 下田市東本郷1丁目5番18号  
 FAX：0558-22-3910 メール：kikaku@city.shimoda.shizuoka.jp

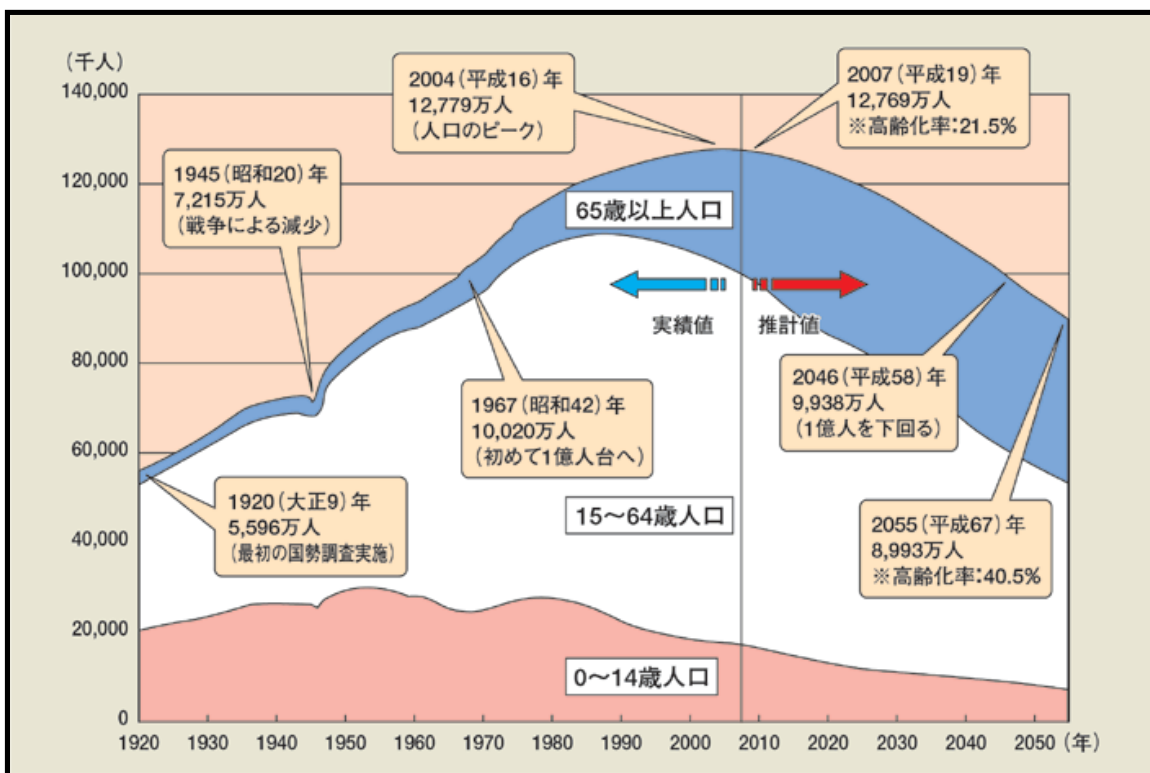
## 2008年人口減少は過去最大！ = 『人口』について考えてみましょう！ =

平成 20 (2008) 年、国内で生まれた日本人は 109 万 2,000 人、死亡した日本人は 114 万 3,000 人となったことが、厚生労働省の人口動態統計の年間推計で公表されました。前年と比較すると出生数は 2,000 人の増、死亡数は 3 万 5,000 人の増となりました。出生数から死亡数を引いた自然増加数は 5 万 1,000 人のマイナスとなり、いよいよ本格的な人口減に入ったことが推計されます。

### 《日本の人口構造の推移と見通し》

我が国の総人口は、平成 17 (2005) 年の 1 億 2,777 万人をピークに減少に転じ、平成 67 (2055) 年には 8,993 万人になることが見込まれています。

また、年齢区分別の割合をみると、年少人口は【2007 年 13.5%から 2055 年 8.4%】、生産年齢人口は【2007 年 65.0%から 2055 年 51.1%】にそれぞれ低下する反面、老年人口は【2007 年 21.5%から 2055 年 40.5%】に増加する推計がされています。



(出典：厚生労働省「平成 20 年人口動態統計の年間推計」)

人口の推移と年齢階層別の人口をイラストで表わすと下記ようになります。



総人口の減少や少子化、高齢化は、今後ますます進行していくことが懸念されます。こうしたなかで、特に子育て支援については、喫緊の課題として様々な視点から取り組んでいくことが求められています。市内でも多くの市民の皆さんが子育て支援活動に携わっていますが、今回は、そんな団体のなかから『託児ボランティア活動』に取り組んでいる“しもだ子育て応援隊ぽっぽ”の伊澤代表に、活動の様子を報告していただきました。

## 『子育てへのささやかなお手伝いを』

下田子育て応援隊ぽっぽ 伊澤英子

今日は稲梓幼稚園の家庭教育学級の日。稲梓幼稚園へお母さんたちが集まってきます。そんな中に、小さな赤ちゃんを抱えたお母さんもいます。「お願いします。」「はい、こんにちは。みんなで遊ぼうね。」中には、お母さんから離れた途端、泣き出す子もいますが、抱っこしてくれたおばさん（おじさんもいます）にあやしてもらって、いつの間にはチビっ子は用意されたおもちゃで仲良く遊び始めます。



こうして家庭教育学級の間、幼稚園児の妹や弟をお預かりするのが、私たち「託児ボランティア」の活動です。市内のほかの4幼稚園でも、同じように活動しています。でも、稲梓幼稚園の託児は主に稲梓地区のメンバーが、吉佐美地区の託児は吉佐美地区のメンバーを中心に、と地域の結びつきを大切にしながら活動しています。「地域の子どもは地域で育てましょう」そんな願いもあるからです。

この託児ボランティアグループは、正式には“しもだ子育て応援隊ぽっぽ”といます。“ぽっぽ”が誕生してからもう4年がたちます。この“ぽっぽ”は、毎年社会福祉協議会主催で開催される【託児ボランティア養成講座】を受講した人や子どもと関わることが好きな人たちなどが集まっているボランティア団体です。毎年少しずつメンバーが増えています。



この4年間の間には、講演会の託児、月1回ベ이스タージで開かれている未就園児とそのお母さんたちの集いの場「ひよこサロン」や毎月開催される「遊・VIVA!」のひよこルームのお世話など、たくさんの託児の依頼を受けて活動してきました。そして、今年から市内の各幼稚園の家庭教育学級でも活動するようになりました。

「子育てを少しでもゆとりを持って楽しんでほしい。」という願いから、私たちの活動は始まりましたが、今では小さい子どもとのふれあいを通して、反対にたくさんの喜びをもらっています。

抱っこするとそのあったかいこと！ 体中で微笑む笑顔の素敵なこと！

そして何より、ひとりひとりの幼い子どもの育ちの豊かなこと！

私たち“ぽっぽ”は、こんな子育てへのささやかなお手伝いをさせていただいています。うれしいことに派遣の要請も随分と増えてきました。

ぜひ皆さんも一緒に活動してみませんか。

連絡・問い合わせ先：下田市社会福祉協議会 電話（22）3294

## ひとりで悩まないで！思い切って相談してください！

女性を取り巻く問題の相談窓口です。私たちがサポートします。どうぞ、お電話ください。

### 静岡県女性相談センター（配偶者暴力相談支援センター）

DVに関する相談を受付ます。緊急の場合、暴力から逃れるための一時的な保護の相談に応じます。

054 - 286 - 9217（年末年始・祝日を除く、毎日 9:00～20:00）

### 静岡県賀茂健康福祉センター

DVに関する相談を受け付ます。女性相談員が駐在しています。

0558 - 22 - 9217（年末年始・祝日を除く月～金 9:00～17:00）

### 県男女共同参画センターあざれあ相談室

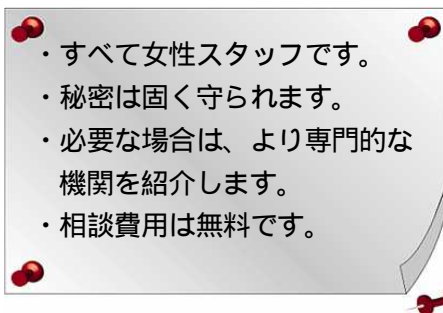
女性が抱える様々な悩みを女性の相談員・弁護士・精神科医が受け付けています。

0558 - 23 - 7879（年末年始、祝日を除く月～金 9:00～16:00）

市内局番ですが、あざれあに直接転送されます。

< 予約制専門相談(無料) > 電話相談でご予約ください。

- ・弁護士相談 毎月2回火曜日 13:00～16:00
- ・精神科医 奇数月第3金曜日 13:00～16:00
- ・DV・その他暴力専門相談員  
毎週月・水・木曜日 10:00～15:00



### 女性の人権ホットライン（静岡地方法務局）

0570 - 070 - 810（年末年始・祝日を除く月～金 9:00～16:00）

### 全国共通DVホットライン

民間団体が開設しており、全国どこからでも通話料無料でDVの電話相談ができます。

0120 - 956 - 080（月～土 10:00～15:00）

### 下田市福祉事務所

DV、母子家庭、生活相談、児童相談など、幅広い相談が受けられます。

0558 - 22 - 2216（月～金 8:30～17:15）

### 下田警察署 生活安全課

0558 - 27 - 0110

